

も り
北の森林
国有林



写真：黒岳の紅葉

今月のトピック

- ・平成30年度の林道事業の実施状況について

10
平成30年
No. 34



国民の森林・国有林

林野庁 北海道森林管理局



2018年は北海道150年
Hokkaido's 150th Anniversary

平成30年度の林道事業の実施状況について

～作業コストの縮減に向けた路網整備を推進しています～

森林整備第二課

林道は、森林を手入れして健全な状態に保ち、間伐等によって生産された木材の生産コストを削減して木材の活用を促進することを目的に開設された道路です。

北海道内の林道総延長は24,414km(平成29年3月末現在)であり、このうち国有林林道(併用林道含む)は16,223kmと、全体の約7割を占めています。

北海道森林管理局では今年度、約50kmの林道の新設工事・改良工事・災害復旧工事を施工しており、整備後に樹木の植え付けや間伐等の森林整備を予定しております。今年度に施工を計画している道内各地の林道事業の進捗状況等をご紹介します。

道北地域

■工事名…オマナイ林道改良工事

■場所…中川町(上川北部森林管理署)

工期…平成30年3月7日～10月26日

■受注者…(株)野田組



オマナイ林道施工前



オマナイ林道改良後

■工事概要

オマナイ林道改良工事は、平成29年の豪雨によ

り、約30mにわたって林道が決壊した被害を復旧するものです。

復旧方法については、盛土だけでは道路が造成できないこと、同様の豪雨があった場合に土石流等の発生が予見されることから、コンクリート擁壁を設置して路体の安定を図ることにしました。

9月末現在の進捗率は85%で、平成31年の利用開始を予定しています。

■工事名…中ノ沢林道(林業専用道)新設工事

■場所…天塩町(留萌北部森林管理署)

■工期…平成30年5月12日～12月3日

■受注者…(株)遠藤重機

■工事概要

中ノ沢林道(林業専用道)新設工事は、約300haの森林施業を実施することを目的に、天塩町南雄信内地区の町道終点

から、1,340mを開設するものです。

9月末現在の進捗率は70%で、利用開始は平成31年を予定しています。



中ノ沢林道着手直後



中ノ沢林道施工中

道央地域

■工事名…斉藤の沢林道(林業専用道)新設工事

■場所…芦別市(空知

森林管理署)

■工期：平成30年6月14日～平成31年1月28日

■受注者：(株)植田組
■工事概要

齊藤の沢林道(林業専用道)新設工事は、約200haの森林施業を実施することを目的に1,570mを開設するものです。



齊藤の沢林道施工中(路盤工)

現在は、通行する車両の荷重を分散させて安全に走行できるように十分な支持力を保ち、耐久性を備えるために砕石を必

要な厚さに締め固める作業(路盤工)を行っていただきます。

9月末現在の進捗率は50%で、利用開始は平成31年を予定しています。

道南地域

■工事名：森姫川林道災害復旧工事

■場所：森町(渡島森林管理署)

■工期：平成30年3月6日～9月6日(7月23日工事完成)

■受注者：工藤建設(株)
■工事概要

平成29年9月18日、檜山地方に上陸した台風18号の影響により、道南地方を中心に集中豪雨が発生しました。この豪雨によって、森姫川林道沿いに流れる尾白内川が増水して道路を侵食し、約30mにわたって林道が決壊する被害が発生しました。復旧については、盛土

だけでは道路が造成できないこと、今後、同様の豪雨があった場合に土石流等の発生が見られることから、コンクリート擁壁を設置して路体の安定を図りました。工事は、7月下旬に完成しました。



森姫川林道施工前



森姫川林道施工後

道東地域

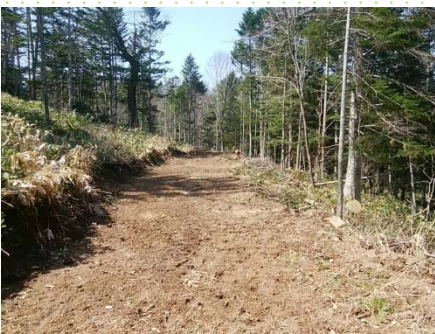
■工事名：奥村の沢支線林道(林業専用道)新設工事

■場所：陸別町(十勝東部森林管理署)

■工期：平成30年3月9日～12月12日

■受注者：(株)河向組
■工事概要

奥村の沢支線林道(林業専用道)新設工事は、約400haの森林施業を実施することを目的に2,200mを開設するものです。



奥村の沢支線林道着手直後

9月末現在の進捗率は96%で、利用開始は平成31年を予定しています。



奥村の沢支線林道施工中

戦後に植栽した人工林が成熟しつつある中、きめ細やかな施業を実施し、資源の有効利用を図るためには、効率的な路網整備がさらに重要となります。林道は、地域の災害時の避難路としての役割も果たしており、北海道森林管理局では今後とも地域に貢献することができるよう、適切な維持管理に努めて参ります。

地域課題の解決に向けた取組

森林整備推進協定締結に向けた取組

渡島森林管理署

地域の課題

渡島森林管理署では、地域の民有林関係者とともに森林・林業に関する課題に取り組んでいます。

当地域においては、造林未済地や間伐未実施林分の解消が大きな課題となっており、当署では、それらの課題の中から重点的に取り組む課題を設定し取組を進めています。



列状間伐を実施した人工林

これまでの取組

これまでの取組として、列状間伐や搬出間伐、一貫作業システム、コンテナ苗の活用、工程管理システム、ドローンの活用などの多岐にわたる現地検討会、講習会などを通

じて、作業の効率化やコストの縮減、集約化施策などについて議論を深めてきています。



工程管理システム説明会

また、市町村に向けて森林整備協定の提案や、民有林における列状間伐モデル林の設定など様々な取組を地域の皆様とともに進めてきたところです。



高性能林業機械の現地検討会

森林整備協定締結に向けて

そうした中で、八雲町では民有林と国有林の連携した集約化施策を推進するため、春日地区と熊石地区の2箇所の協定締結候補地について、渡島総合振興局と連携し検討を進めています。

・春日地区

春日地区は、私有林である造林未済地を町有林として新たに取得した林地を含む地区です。

隣接している国有林では主伐期に達する林地があることから、町有林から国有林に至る林業専用道（規格相当）を開設し、集約化施策を実施する検討を行い、地域の課題でもある造林未済地の解消と効率的施策を目指しています。

・熊石地区

熊石地区は、国有林に挟まれた町有林があり、主伐期を迎えています。木材の搬出や造林等の森林整備のためには路網整備が必要な状況であることから、3月に現地踏査を実施し路網配置を検討しましたが、急峻な地形から難航していました。



現地踏査の状況

再度の検討により、国有林の林道から民有林に至る林業専用道（規格相当）を整備し、森林作業道と共同土場の設置を組み合わせた検討を進め、森林作業道や共同土場などを活用した効率的な施策を目指しています。

今後に向けて

これまでの経過から、関係者間の情報が共有され、地域課題に対する理解が深まり、より現実的な検討が進められていると感じています。

民有林と国有林の連携した効率的な森林整備や、地域の集約化施策の推進に向けて、今後も地域の皆様と一緒に取り組んでいきたいと考えています。

こんにちは森林官です!



石狩森林管理署
定山溪森林事務所
首席森林官 鈴木嘉一



左端が筆者

定山溪森林事務所は、札幌市の南西部豊平川豊平峡ダム上流に位置する定山溪国有林、同じ豊平川豊平峡ダム西部地区に位置する定山溪国有林を管轄しています。

ここは「支笏洞爺国立公園」に含まれた水源かん養保安林で「緑のダム」として重要な役割を担い札幌市197万人の上水道の85%を供給する重要な役割を担っています。



札幌市の水瓶定山湖

水源の北部には、北海道で最初の本格山岳ハイウェイと称される国道230号線が横断しており、各所で

定山溪の雄大な景色を一望出来ることから、景観に配慮した森林づくりが進められております。

当地区の周辺には各種の観光施設が整備されており、都市近郊にありながらも自然にあふれるエリアであることから、四季折々の自然を楽しむべく多くの人が訪れています。



豊平峡ダム

定山溪中学校では、定山溪国有林をフィールドとして平成22年から植樹活動を行いながら、身近な森で保全を考える活動をしています。外来種も含め既に森

林生態系が出来上がっている状況の中で、たくさん生物が住み「排除」ではなく「共生」を目指した保全の方向を探っています。



定山溪中学校による昆虫調査
(ピットホールトラップ)

一方、札幌市南区にある北海道札幌南陵高校では、管内の大蛇ヶ原湿原において、動植物、微小生物の観察、水質調査の研究をしています。現在の生物や水質

の状況と約40年前の調査結果との比較・考察について、平成30年度北の国・森林づくり技術交流発表会での報告に向け当事務所の上野森林官補をアドバイザー



大蛇ヶ原湿原の調査箇所

とし、共同での報告に向け取り組んでいるところです。国有林の管理経営以外に、水源のかん養、国土の保全、森林景観の維持といった、森林の持つ公益的機能が十分発揮されるよう、今後も森づくりに努めていきたいと考えています。

また、地球温暖化防止をはじめ、あらためて森林の重要性が見直されているなかで、札幌市民はもとより、広く道民の皆さんに森林、林業の重要性について、この定山溪国有林から色々な情報を発信していくことが、重要な使命であると考えています。



釧路湿原森林ふれあい推進センター

釧路湿原森林ふれあい推進センターでは、森林環境教育や森林ふれあいの取組を北海道釧路総合振興局森林室等と連携して実施しています。今回はその一部を紹介いたします。

木育交流会 in 弟子屈

この催しは、「北海道・木育フェスタ2018」の一環で、子どもたちが、森と木にふれあう機会を通じて交流を深め「人と森林との関わりを主体的に考えられる豊かな心を育むことを目的に、北海道と国有林が連携して取り組みました。



木の名札づくりの様子

今回は、2日間の日程で行われ、根釧西部森林

管理署と当センターは、木の名札づくりや森林整備作業の見学等を担当しました。

「木の名札づくり」では、初めて会うお友達の名前がわかるように、カラマツ・イヌエンジュ・シラカンバ・ハシドイ・バッコヤナギ等の輪切りから好きなものを選び、名前やイラストを描きました。

子どもたちは、木口の色や年輪等を眺め、どれにしよかと悩んでいました。シラカンバの気が高かったようです。



林業機械に興味津々

また、「森林整備作業の見学」では、カラマツ伐採のデモンストレーションやアタッチメントの説

明の際、高性能林業機械に興味津々で、子どもたちは機械を間近で見ようと近づいていました。

子どもたちからは、「木がどれだけ大切か、わかった。」や「木の勉強も意外といい。」等の感想がありました。

初任段階教員研修

この研修は、以前から北海道教育庁が、採用3年目の教員を対象に実施しているものです。昨年からは、釧路総合振興局森林室と国有林が連携して企画を練り、3日間のカリキュラムのうち、根釧西部森林管理署と当センターが、森林整備作業の見学や木育体験等を担当しました。

「森林整備作業の見学」では、現在パイロットプロジェクトで素材生産を実施している林業事業体の協力を得て、高性能林業機械による伐採・枝払い・測尺・玉切り（材を一定の長さに切りそろえ

ること）のデモンストレーションが行われ、大きなカラマツがあつという間に倒れ、丸太になっていく工程に、研修生から驚きの声が上がっていました。

当センターは、森林環境教育等の取組の紹介として、タネや樹木と葉、動物について解説するとともに、ロケット・ラワンづくり等を通じて、色々なタネの飛び方や運ばれ方を実感していただきました。



タネの仕組みを解説

当日は猛暑の中、また、慣れない森林での木育体験等となりましたが、この研修を通じて森林環境教育や木育に、取り組むきっかけとしたいだければと考えています。



各地からの便り



詳細は

森もりスクエア

検索

新得町立屈足南小学校で森林環境教育

平成30年9月26日、新得町立屈足南小学校の3、4年生を対象とした森林環境教育を屈足国有林内で実施しました。最初に、間伐について資料を使いながら説明した後、製品生産（伐採）請負現場に移動し、生産事業の一連の流れを見学しました。実際に、伐採作業をみた児童からは、その迫力に自然と歓声と拍手が湧き上がるとともに、「一日に何本伐るのか」「木が育つのに何年かかるのか」など多くの質問が飛び交い、森林への関心が高まったようでした。（東大雪支署）



未来の林業・林産業の担い手を育成

平成30年9月25日から26日、旭川農業高校と下川町、上川総合振興局北部森林室及び当署との間で、平成29年5月に締結した「担い手育成の連携協定」に基づいて「人材育成プログラム」の一環として体験実習を行いました。今回は、裸苗（らびょう）やコンテナ苗の植付作業を、色々な器具を使って行ったところ、苗の種類や植付に使用する器具や使い方により、作業のやりやすさや、効率が違うことなど、色々な気づきがあったようです。今回の植樹作業の体験や今後の実習を契機に、森林・林業分野に少しでも興味を持ってもらえればと考えております

（上川北部森林管理署）



足寄小学校で森林教室

平成30年9月28日、足寄小学校の5年生を対象に森林教室を開催しました。始めに森林の働きや食物連鎖、木を使っているものについて説明し、現場までバスで移動し、伐採の様子を見学しました。伐採の現場を見る機会はほとんどないため、今の山仕事に大変驚かれています。質問コーナーなどでは色々な質問が寄せられ大いに盛り上がりました。これからも森林や林業について多くのことを学んでくれることを願っております。

（十勝東部森林管理署）



江差北小学校グリーンスクール

平成30年9月13日、江差町水堀の砂坂海岸林にある「遊々の森」で、「江差北小学校グリーンスクール」を開催しました。当日は、全校児童を対象に、低学年（1、2年生）、中学年（3、4年生）、高学年（5、6年生）の3グループに分かれ、「フィールドビンゴ」、「木工制作」、「樹木博士認定会」などを企画したところ、森林に親しみながら学んでもらうことができました。

今後も森林について更に関心を持ってもらえるよう、より良い森林環境教育の推進に努めていきたいと思っております。（檜山森林管理署）

幌加内地域で合同現地見学会

平成30年9月4日、幌加内町有林と幌加内国有林において、北海道大学雨龍研究林（以下、研究林）と幌加内町の職員と合同現地見学会を開催しました。この見学会は、幌加内地域において森林を管理している研究林・町有林・国有林における森づくりの課題を共有し、解決に向けてお互いの知見を出し合うことを目的としています。今回は、町有林の間伐箇所や国有林の地表処理箇所などを見学し、地域の森林施業について話し合い、情報を共有するとともに課題解決に向けて検討する契機となりました。

（北空知支署）

木づかい推進月間

地域の木材を利用することは、地球温暖化防止への貢献、持続可能な森林資源の活用、山への還元、地域の産業の活性化等、様々な面において効果をもたらします。

平成 17 年度に始まった木づかい運動も、今年で 14 年目を迎えました。特に 10 月は「木づかい推進月間」として、集中的な活動を行うこととしています。各都道府県においても地方自治体や民間団体により様々なイベントが開催されています。

平成 30 年 10 月の木づかい・木育イベント情報は、以下の URL で紹介しております。
<http://www.rinya.maff.go.jp/j/riyou/kidukai/event/Oct2018.html>

「平成 30 年度北の国・森林づくり技術交流発表会」の開催と発表募集

平成 31 年 2 月 13 日(水)及び 14 日(木)の 2 日間、北海道大学「学術交流会館」において、森林・林業に係る技術情報等の情報交換を図るため、「平成 30 年度北の国・森林づくり技術交流発表会」を開催することから、森林づくり、森林環境教育を含め、森林・林業に関連する取組活動についての発表を募集します。

- 1 募集対象:北海道、市町村、大学、高等学校、森林・林業・木材産業関係企業及び NPO 法人、ボランティア団体等
- 2 発表方法等:①口頭発表 パソコン及び液晶プロジェクター等を使用し、12 分間で発表していただきます。
②ポスター発表
- 3 応募方法等:実施要領とエントリーシートは、下記のホームページに掲載しております。
<http://www.rinya.maff.go.jp/hokkaido/press/sidou/181001.html>
必要事項をご記入のうえ、次のメールアドレスに送付してください。
h_bunkenteikyo01@maff.go.jp
- 4 応募期限:平成 30 年 11 月 15 日(木)
- 5 お問い合わせ先:北海道森林管理局技術普及課 TEL:011-622-5245

もり
広報 「北の森林 国有林」10月号
発行 北海道森林管理局
編集 総務企画部 企画課
〒064-8537 札幌市中央区宮の森
3条7丁目70
I P 電話 050-3160-6300
電 話 011-622-5213
F A X 011-622-5194

<http://www.rinya.maff.go.jp/hokkaido/>

・国有林モニターの「現地見学会」を
10月20日に実施します。

・イベント情報は、
イベント情報カレンダーを
ご覧ください。

<http://www.rinya.maff.go.jp/hokkaido/kocho/event/index.html>